

メタデータの共通項目と JPCOARスキーマ

2023年3月14日

第18回月刊JPCOAR「研究データのメタデータの共通項目への対応に向けて」

オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)
コンテンツ流通促進作業部会メタデータチーム

岩井雅史(信州大学)



もくじ

メタデータの共通項目と大学図書館・機関リポジトリ

機関リポジトリとJPCOARスキーマ

JPCOARスキーマの改訂とメタデータの共通項目

今後の展開

メタデータの共通項目と 大学図書館・機関リポジトリ

「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」(2021)

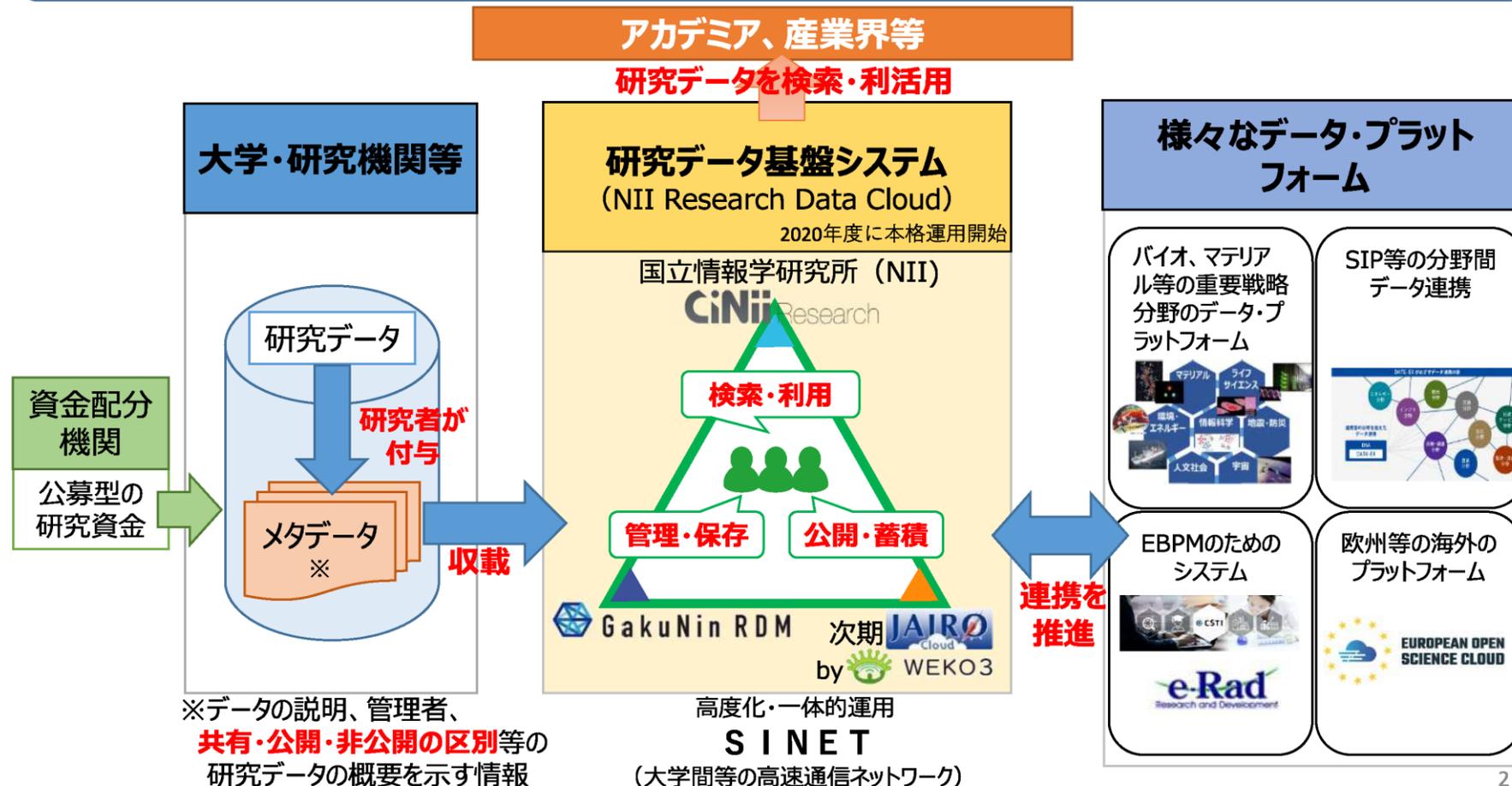
<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/sanko1.pdf>

- 第6期科学技術・イノベーション基本計画で示された、「公的資金による研究データの管理・利活用の推進」についての考え方を具体化したもの
- **研究開発を行う機関、資金配分機関、研究者**それぞれに、データポリシー、データ管理計画(DMP)、データへのメタデータ付与などについての対応を求める
- 「メタデータの共通項目」の出处

公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方について

研究データ基盤システムを中核としたデータ・プラットフォームの構築

- 研究データの公開・共有を推進、産学官のユーザが **データを検索可能**
 - **ムーンショット型研究開発制度**における試行(2020年度開始)、その後、次期 **SIP**に導入
- **全ての公募型の研究資金**の新規公募分に導入(2023年度まで)



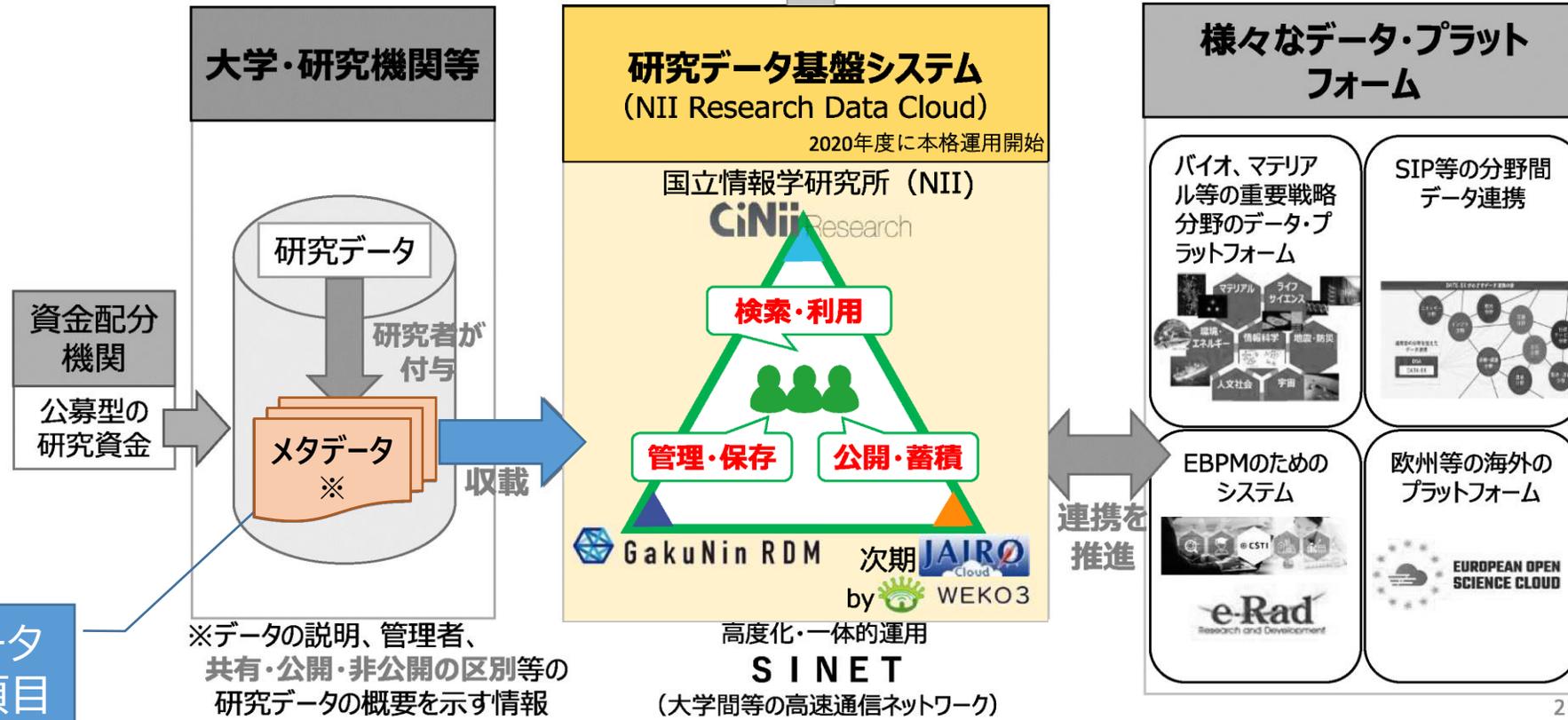
公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方について

研究データ基盤システムを中核としたデータ・プラットフォームの構築

- 研究データの公開・共有を推進、産学官のユーザがデータを検索可能
 - ムーンショット型研究開発制度における試行(2020年度開始)、その後、次期SIPに導入
- ➔ 全ての公募型の研究資金の新規公募分に導入(2023年度まで)

アカデミア、産業界等

研究データを検索・利活用



メタデータの共通項目

※データの説明、管理者、共有・公開・非公開の区別等の研究データの概要を示す情報

国の研究データ政策における機関リポジトリの位置づけ

「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」より

- 「研究開発を行う機関は、管理対象データへのメタデータの付与を進めるとともに、研究者による機関リポジトリへの管理対象データの収載を進める。」

(4-2. 機関リポジトリへの研究データの収載と研究データへのメタデータの付与の推進)

- 「研究者が適切に研究データを公開・共有するために、「2-4. 研究データの公開・共有の考え方」に示したとおり、関係諸法令、国際的な規則や慣行等との整合性のとれた機関リポジトリの整備が求められる。」

(4-4. セキュリティの確保、関係諸法令の遵守等)

機関リポジトリと JPCOARスキーマ

メタデータスキーマとは

- 「メタデータの形式や構造を定義したもの。メタデータの記述に用いる語彙定義と記述規則をあわせてスキーマと呼びます。」

(国立国会図書館ウェブサイト 「【参考】メタデータ関連用語集」

<https://www.ndl.go.jp/jp/dlib/standards/meta/glossary.html>)

- 例
 - MARC21
 - KBART
 - DC-NDL(RDF)
 - JPCOARスキーマ

JPCOARスキーマの特徴

junii2に代わるスキーマとして、次の点を重視

- オープンサイエンスへの対応(特に研究データ)
- 識別子の拡充と階層構造の採用
- 国際的な相互運用性(国際組織の統制語彙の採用)

(大園隼彦ほか. JPCOARスキーマの策定:日本の学術成果の円滑な国際的流通を目指して. 情報管理 60 (10), 719-729, 2018)

2017年	10月	Version 1.0	公開
2018年	8月	Version 1.0.1	公開
2019年	11月	Version 1.0.2	公開
2022年	12月	Version 2.0	公開

JPCOARスキーマの改訂と メタデータの共通項目

メタデータ共通項目への対応

「JPCOARスキーマVersion 2.0策定方針」より

- 研究データの管理・利活用を促進するため、統合イノベーション戦略推進会議により提示された、国内の公的資金による研究開発において共通的に用いられる「メタデータの共通項目」に対応した拡張を行う。
(基本方針4)
- 基本方針4.により、研究データの「メタデータの共通項目」とJPCOARスキーマとの対応付けを行い、JPCOARスキーマのどの項目を用いれば「メタデータの共通項目」に対応できるのかを提示する。
(研究データに関する主な検討事項 3. ガイドラインの整備)

<https://doi.org/10.34477/0002000146>

研究データ関連の変更内容

① 助成情報	
助成機関識別子	e-Radの「資金配分機関コード」を追加
プログラム情報【新設項目】	各資金配分機関内の助成カテゴリを表す「プログラム情報」を入力可能に
研究課題番号	「体系的番号」（論文謝辞等で使用する研究課題の番号）を追加
② 研究機関コード	
作成者識別子	国際的に使用される「ROR」（Research Organization Registry）の機関番号を追加
寄与者識別子	
所属機関識別子（作成者所属）	
所属機関識別子（寄与者所属）	
助成機関識別子	
③ 主題	e-Radで用いられる分野表（「研究分野（主）」11区分）を追加
④ 資源タイプ	COAR Resource Types 3.0で「dataset」語彙の下位に設定された13種類を追加。データの取得方法別の語彙（実験データ/ 観測データ/ 調査データなど）と、データの内容別の語彙（地理空間データ/ ゲノムデータなど）がある

「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」における メタデータの共通項目

(2021年11月30日時点)

項目	必須/任意	備考
1 資金配分機関情報	必須※	公募型の研究資金を配分した資金配分機関（府省含む）の英語略称 公募型の研究資金以外の場合は記入不要
2 e-Radの課題番号	必須※	公募型の研究資金の場合は、e-Radに登録した課題番号 公募型の研究資金以外の場合は記入不要
3 プロジェクト名	必須※	プロジェクトの研究代表者が統括する研究開発の範囲の名称 公式な名称がない場合は、研究者の所属機関のルールに従って入力
4 データNo.	必須	管理対象データを一意に特定するための番号 公募型の研究資金を配分した資金配分機関が付与 公募型の研究資金以外の場合はデータ管理機関（項目14）が付与
5 データの名称	必須	学会資料、報告資料、測定結果などの中身の分からない名称は避ける
6 掲載日・掲載更新日	必須	メタデータの掲載日・掲載更新日
7 データの説明	必須	端的かつ中身の分かる内容を記載
8 データの分野	必須※	e-Radの研究分野（主分野）。e-Radとの連携により、自動入力される予定。
9 データ種別	必須	研究データ基盤システム上では、通常は「データセット」を標準とするが、データの特性に応じて「データセット」以外の種別を選択可能
10 概略データ量	任意	1GB未満、1GB以上10GB未満、10GB以上100GB未満、100GB以上等の区分により記載
管理対象データの利活用・提供方針	必須	無償/有償、ライセンス情報、その他条件（引用の仕方等）等を記載
11 アクセス権	必須	公開/共有/非共有・非公開/公開期間猶予から選択
公開予定日	必須	公開期間猶予を選択した場合、公開予定日を記載
12 リポジトリ情報	必須	現在のリポジトリ情報、あるいはプロジェクト後のリポジトリ情報
リポジトリURL・DOIリンク	任意	情報があれば記載
13 データ作成者	任意	管理対象データを生み出した研究者の名前
データ作成者のe-Rad研究者番号	任意	管理対象データ作成者のe-Radの研究者番号
データ管理機関	必須	各データを管理する研究開発を行う機関のe-Radに登録された法人名
データ管理者	必須	データ管理組織において各管理対象データを管理する担当者の名前
14 データ管理者のe-Rad研究者番号	任意	管理者のe-Radの研究者番号 e-Rad研究者番号がない管理者は記入不要、ある場合は必須
データ管理者の連絡先	必須	データ管理者の所属機関の住所や電話番号、メールアドレス等
15 備考	任意	

※公募型の研究資金による研究活動の場合

「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」における メタデータの共通項目

(2021年11月30日時点)

項目	必須/任意	備考
1 資金配分機関情報	必須※	公募型の研究資金を配分した資金配分機関（府省含む）の英語略称 公募型の研究資金以外の場合は記入不要
2 e-Radの課題番号	必須※	公募型の研究資金の場合は、e-Radに登録した課題番号 公募型の研究資金以外の場合は記入不要
3 プロジェクト名	必須※	プロジェクトの研究代表者が統括する研究開発の範囲の名称 公式な名称がない場合は、研究者の所属機関のルールに従って入力
4 データNo.	必須	管理対象データを一意に特定するための番号 公募型の研究資金を配分した資金配分機関が付与 公募型の研究資金以外の場合はデータ管理機関（項目14）が付与
5 データの名称	必須	学会資料、報告資料、測定結果などの中身の分からない名称は避ける
6 掲載日・掲載更新日	必須	メタデータの掲載日・掲載更新日
7 データの説明	必須	端的かつ中身の分かる内容を記載
8 データの分野	必須※	e-Radの研究分野（主分野）。e-Radとの連携により、自動入力される予定。
9 データ種別	必須	研究データ基盤システム上では、通常は「データセット」を標準とするが、データの特性に応じて「データセット」以外の種別を選択可能
10 概略データ量	任意	1GB未満、1GB以上10GB未満、10GB以上100GB未満、100GB以上等の区分により記載
管理対象データの利活用・提供方針	必須	無償/有償、ライセンス情報、その他条件（引用の仕方等）等を記載
11 アクセス権	必須	公開/共有/非共有・非公開/公開期間猶予から選択
公開予定日	必須	公開期間猶予を選択した場合、公開予定日を記載
12 リポジトリ情報	必須	現在のリポジトリ情報、あるいはプロジェクト後のリポジトリ情報
リポジトリURL・DOIリンク	任意	情報があれば記載
13 データ作成者	任意	管理対象データを生み出した研究者の名称
データ作成者のe-Rad研究者番号	任意	管理対象データ作成者のe-Radの研究者番号
データ管理機関	必須	各データを管理する研究開発を行う機関のe-Radに登録された法人名
データ管理者	必須	データ管理組織において各管理対象データを管理する担当者の名称
14 データ管理者のe-Rad研究者番号	任意	管理者のe-Radの研究者番号 e-Rad研究者番号がない管理者は記入不要、ある場合は必須
データ管理者の連絡先	必須	データ管理者の所属機関の住所や電話番号、メールアドレス等
15 備考	任意	

※公募型の研究資金による研究活動の場合

スキーマ改訂が
関係する項目

1. 資金配分機関情報

1	資金配分機関情報	必須※	公募型の研究資金を配分した資金配分機関（府省含む）の英語略称 公募型の研究資金以外の場合は記入不要
---	----------	-----	--

23 助成情報

- 23.1 助成機関識別子
- 23.2 助成機関名
- 23.3 プログラム情報識別子
- 23.4 プログラム情報
- 23.5 研究課題番号
- 23.6 研究課題名

助成情報

◎ 要素名

jpcoar:fundingReference

記入レベル: MA（該当する場合は必須）

繰返回数: 0-N（繰返可：必須以外）

✎ 説明

- コンテンツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用した助成金情報を記入する。

助成機関識別子にe-Radの資金配分機関コード

23 助成情報

23.1 助成機関識別子

23.2 助成機関名

23.3 プログラム情報識別子

23.4 プログラム情報

23.5 研究課題番号

23.6 研究課題名

助成機関識別子

◎ 要素名

jpcoar:funderIdentifier

記入レベル: MA (該当する場合は必須)

繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)

○ 属性

funderIdentifierType

記入レベル: M (必須)

繰返回数: 1 (繰返不可: 必須)

☑ 統制語彙

- Crossref Funder - Crossref Funder Registryの助成機関識別子
- e-Rad_funder - 府省共通研究開発管理システム (e-Rad) の資金配分機関コード
- GRID - 【非推奨】 GRID (Global Research Identifier Database) の識別子 [→ "ROR"へ統合]
- ISNI - 国際標準名称識別子 (ISNI : International Standard Name Identifier)
- ROR - ROR (Research Organization Registry) の機関番号
- Other - その他

2. 体系的番号

2	e-Radの課題番号	必須※	公募型の研究資金の場合は、e-Radに登録した課題番号 公募型の研究資金以外の場合は記入不要
---	-----------------------	-----	---

「体系的番号」に変更予定

23 助成情報

- 23.1 助成機関識別子
- 23.2 助成機関名
- 23.3 プログラム情報識別子
- 23.4 プログラム情報
- 23.5 研究課題番号**
- 23.6 研究課題名

研究課題番号

◎ 要素名

jpcoar:awardNumber

記入レベル: MA (該当する場合は必須)

繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)

○ 属性

awardURI

記入レベル: MA (該当する場合は必須)

繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)

awardNumberType

記入レベル: MA (該当する場合は必須)

繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)

☑ 統制語彙

- JGN - 体系的番号 (Japan Grant Number)

(参考)体系的番号とは

- 国の研究開発事業を一意的に特定する番号。
各事業と、その成果である論文とを紐づけて、事業の成果を可視化するために、論文の謝辞等に記載することとなっている。
- 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)が管理
 - 令和4年度分 <https://www.nistep.go.jp/archives/53002>

体系的番号 一覧

事業・制度名	国コード	機関コード	施設・事業の特定コード				e-Rad課題番号等	桁数	備考欄
放射線安全規制研究戦略の推進事業費	J	P					J007057	9	
防衛省									
安全保障技術研究推進制度	J	P					J004596	9	
日本学術振興会 (JSPS)									
科学研究費助成事業	J	P					科研費番号(8桁)	10	
課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業	J	P	J	S	0	0	1	課題番号(8桁)	15
人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業	J	P	J	S	0	0	2	課題番号(8桁)	15
科学技術振興機構 (JST)									
未来社会創造事業	J	P	M	J	M	I		課題番号(4桁)	10
戦略的創造研究推進事業 新技術シーズ創出:CREST	J	P	M	J	C	R		課題番号(4桁)	10
戦略的創造研究推進事業 新技術シーズ創出:さきがけ	J	P	M	J	P	R		課題番号(4桁)	10
戦略的創造研究推進事業 新技術シーズ創出:ACT-X	J	P	M	J	A	X		課題番号(4桁)	10
戦略的創造研究推進事業 新技術シーズ創出:ERATO	J	P	M	J	E	R		課題番号(4桁)	10

上記URLより抜粋

13. データ作成者

13	データ作成者	任意	管理対象データを生み出した研究者の名前
	データ作成者のe-Rad研究者番号	任意	管理対象データ作成者のe-Radの研究者番号

3 作成者

3.1 作成者識別子

3.2 作成者姓名

3.3 作成者姓

3.4 作成者名

3.5 作成者別名

3.6 作成者所属

3.6.1 所属機関識別子

3.6.2 所属機関名

作成者

◎ 要素名

jpcoar:creator

記入レベル: MA (該当する場合は必須)

繰返回数: 0-N (繰返可: 必須以外)

○ 属性

creatorType

記入レベル: 0 (任意)

繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)

📄 説明

- コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。
- creatorTypeにはコンテンツの作成に直接的に関わりを持つものの役割を簡潔に記入する。

作成者識別子にe-Rad研究者番号

3 作成者

3.1 作成者識別子

3.2 作成者姓名

3.3 作成者姓

3.4 作成者名

3.5 作成者別名

3.6 作成者所属

3.6.1 所属機関識別子

3.6.2 所属機関名

作成者識別子

◎ 要素名

jpcoar:nameIdentifier

記入レベル: MA (該当する場合は必須)

繰返回数: 0-N (繰返可: 必須以外)

○ 属性

nameIdentifierScheme

記入レベル: M (必須)

繰返回数: 1 (繰返不可: 必須)

e-Rad→e-Rad_Researcher

目 統制語彙

- e-Rad_Researcher - 府省共通研究開発管理システム (e-Rad) の研究者番号
- NRID - 【非推奨】 KAKEN研究者ページのID [→"e-Rad_Researcher"を利用]
- ORCID - ORCID
- ISNI - 国際標準名称識別子 (ISNI : International Standard Name Identifier)
- VIAF - バーチャル国際典拠ファイル (VIAF : Virtual International Authority File) の識別子
- AID - NACSIS-CAT著者名典拠レコードID
- kakenhi - 【非推奨】 科学研究費助成事業の機関番号 [→"ROR"を利用]
- Ringgold - Ringgold Identifier (Ringgold社の学術機関識別システムの識別子)
- GRID - 【非推奨】 GRID (Global Research Identifier Database) の識別子 [→ "ROR"へ統合]
- ROR - ROR (Research Organization Registry) の機関番号

14. データ管理者

14	データ管理機関	必須	各データを管理する研究開発を行う機関のe-Radに登録された法人名
	データ管理者	必須	データ管理組織において各管理対象データを管理する担当者の名前
	データ管理者のe-Rad研究者番号	任意	管理者のe-Radの研究者番号 e-Rad研究者番号がない管理者は記入不要、ある場合は必須
	データ管理者の連絡先	必須	データ管理者の所属機関の住所や電話番号、メールアドレス等

4 寄与者

- 4.1 寄与者識別子
- 4.2 寄与者姓名
- 4.3 寄与者姓
- 4.4 寄与者名
- 4.5 寄与者別名
- 4.6 寄与者所属
 - 4.6.1 所属機関識別子
 - 4.6.2 所属機関名

寄与者

◎ 要素名

jpcoar:contributor

記入レベル: R (推奨)
繰返回数: 0-N (繰返可: 必須以外)

○ 属性

contributorType

記入レベル: R (推奨)
繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)

■ 統制語彙

- ContactPerson - 連絡担当者
- DataCollector - データ収集者
- DataCurator - データキュレーター
- **DataManager - データ維持管理者**
- Distributor - 頒布者
- Editor - 編集者
- HostingInstitution - 提供機関
- Producer - 制作者

機関の識別子にROR

4 寄与者

- 4.1 寄与者識別子
- 4.2 寄与者姓名
- 4.3 寄与者姓
- 4.4 寄与者名
- 4.5 寄与者別名
- 4.6 寄与者所属

4.6.1 所属機関識別子

4.6.2 所属機関名

所属機関識別子

◎ 要素名

jpcoar:nameIdentifier

記入レベル: R (推奨)
繰返回数: 0-N (繰返可: 必須以外)

○ 属性

nameIdentifierScheme

記入レベル: M (必須)
繰返回数: 1 (繰返不可: 必須)

■ 統制語彙

- kakenhi - 【非推奨】 科学研究費助成事業の機関番号 [→"ROR"を利用]
- ISNI - 国際標準名称識別子 (ISNI : International Standard Name Identifier)
- Ringgold - Ringgold Identifier (Ringgold社の学術機関識別システムの識別子)
- GRID - 【非推奨】 GRID (Global Research Identifier Database) の識別子 [→ "ROR"へ統合]
- ROR - ROR (Research Organization Registry) の機関番号

ROR(Research Organization Registry)の機関番号に対応
※現在対応しているGRIDはRORに集約の方向

8. データの分野

8	データの分野	必須※	e-Radの研究分野（主分野）。e-Radとの連携により、自動入力される予定。
---	--------	-----	---

主題

◎ 要素名

jpcoar:subject

記入レベル: MA (該当する場合は必須)

繰返回数: 0-N (繰返可: 必須以外)

○ 属性

subjectScheme

記入レベル: M (必須)

繰返回数: 1 (繰返不可: 必須)

☑ 統制語彙

- BSH - 基本件名標目表 (BSH : Basic Subject Headings)
- DDC - デューイ十進分類法 (DDC : Dewey Decimal Classification)
- e-Rad_field - 府省共通研究開発管理システム (e-Rad) の研究分野 (主)
- JEL - JEL (Journal of Economic Literature) 分類コード
- LCC - 米国議会図書館分類表 (LCC : Library of Congress Classification)
- LCSH - 米国議会図書館件名標目表 (LCSH : Library of Congress Subject Headings)
- MeSH - 医学件名標目表 (MeSH : Medical Subject Headings)
- NDC - 日本十進分類法 (NDC : Nippon Decimal Classification)

9. データ種別

9	データ種別	必須	研究データ基盤システム上では、通常は「データセット」を標準とするが、 <u>データの特性に応じて「データセット」以外の種別を選択可能</u>
---	-------	----	--

資源タイプ

◎ 要素名

dc:type

記入レベル: M (必須)

繰返回数: 1 (繰返不可: 必須)

目 統制語彙

- 資源タイプ語彙別表参照【Ver2.0】 - https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/2.0/resource_type_vocabulary

○ 属性

rdf:resource

記入レベル: M (必須)

繰返回数: 1 (繰返不可: 必須)

15 資源タイプ

資源タイプの語彙の充実

Dataset

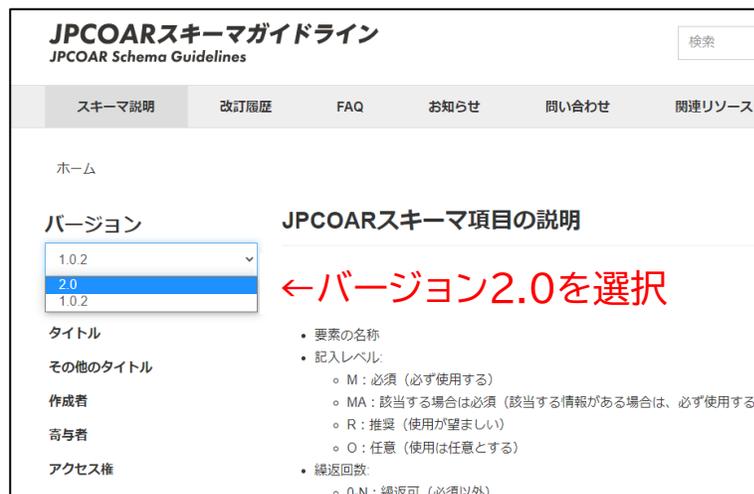
- aggregated data - 集計データ
 - 定義 - 広範な分類、集団、あるいは範疇に関する統計。個人レベルのデータから平均、合計等の数値が導出されており、それらの分類、集団あるいは範疇に属する個人の特性を判別することは不可能である。例えば、失業者数とその年齢層に関する特定の地域の統計、各警察管区の統計から導かれた特定の犯罪の発生件数についての全国統計等があげられる。（出典：人文学・社会科学総合データカタログ（JDCat）統制語彙「調査方法」
https://www.jsps.go.jp/j-di/data/Collection_Method.xlsx [2022-03-14]
 - rdf.resource - https://vocabularies.coar-repositories.org/resource_types/ACF7-8YT9/
 - NII資源タイプ(junii2) - Data or Dataset (データ・データベース)
- clinical trial data - 臨床試験データ
 - 定義 - 臨床試験（介入についての生物医学的または行動学的な有効性を評価するために、被験者であるヒトに介入（プラセボなどのコントロールを含む場合がある）を割り付けて行う前向き研究）で得られたデータ。（出典：National Institutes of Health (NIH) <https://grants.nih.gov/policy/clinical-trials/definition.htm> [2022-03-14]を一部改変）
 - rdf.resource - https://vocabularies.coar-repositories.org/resource_types/c_cb28/
 - NII資源タイプ(junii2) - Data or Dataset (データ・データベース)
- compiled data - 編集データ
 - 定義 - 複数の情報源、たいてい少なくとも1つの点を共有した多様な情報源から収集・整理されたデータで、少なくとも1つの情報源は他の目的のために作成されたものである。集めたデータを統合することで、新しく統一的な情報が生みだされる。例えば、様々な入手可能な情報源（例えば会計書類、公的統計、大学の登録簿）を使って過去150年間の大学に関するデータを提供すること、調査データと公的統計から得られる地域情報の連結（例えば、人口密度、千人あたり医師の数等）、あるいは、RSSを利用してブログの投稿やツイートを集めること等があげられる。（出典：人文学・社会科学総合データカタログ（JDCat）統制語彙「調査方法」
https://www.jsps.go.jp/j-di/data/Collection_Method.xlsx [2022-03-14]を一部改変）
 - rdf.resource - https://vocabularies.coar-repositories.org/resource_types/FXF3-D3G7/
 - NII資源タイプ(junii2) - Data or Dataset (データ・データベース)
- dataset - データセット
 - 定義 - 関連するファクトデータを集めたもの。数値形式で表現され、構造化されているものが多い。
 - rdf.resource - http://nurl.org/coar/resource_type/c_ddb1/

COAR Resource Types 3.0に
準拠して、13種類の語彙を追加
(定義の翻訳もJDCat等に準拠)

JPCOARスキーマの詳細い説明

JPCOARスキーマガイドライン

<https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja>



The screenshot shows the JPCOAR Schema Guidelines website. The main heading is "JPCOARスキーマガイドライン" (JPCOAR Schema Guidelines). Below the heading is a navigation menu with tabs for "スキーマ説明" (Schema Description), "改訂履歴" (Revision History), "FAQ", "お知らせ" (Notice), "問い合わせ" (Contact), and "関連リソース" (Related Resources). The "スキーマ説明" tab is selected. On the left side, there is a "バージョン" (Version) dropdown menu with options "1.0.2", "2.0", and "1.0.2". The "2.0" option is highlighted in blue. To the right of the dropdown menu, there is a red arrow pointing to the "2.0" option with the text "←バージョン2.0を選択" (← Select version 2.0). Below the dropdown menu, there are sections for "タイトル" (Title), "その他のタイトル" (Other titles), "作成者" (Author), "寄与者" (Contributor), and "アクセス権" (Access rights). The "JPCOARスキーマ項目の説明" (JPCOAR Schema Item Description) section is visible, listing requirements for elements and their levels of mandatory use.

JPCOARスキーマガイドライン
JPCOAR Schema Guidelines

検索

スキーマ説明 改訂履歴 FAQ お知らせ 問い合わせ 関連リソース

ホーム

バージョン

1.0.2
2.0
1.0.2

タイトル

その他のタイトル

作成者

寄与者

アクセス権

JPCOARスキーマ項目の説明

←バージョン2.0を選択

- 要素の名称
- 記入レベル:
 - M: 必須 (必ず使用する)
 - MA: 該当する場合は必須 (該当する情報がある場合は、必ず使用する)
 - R: 推奨 (使用が望ましい)
 - O: 任意 (使用は任意とする)
- 繰返回数:
 - 0..N: 繰返可 (必須以外)

今後の展開

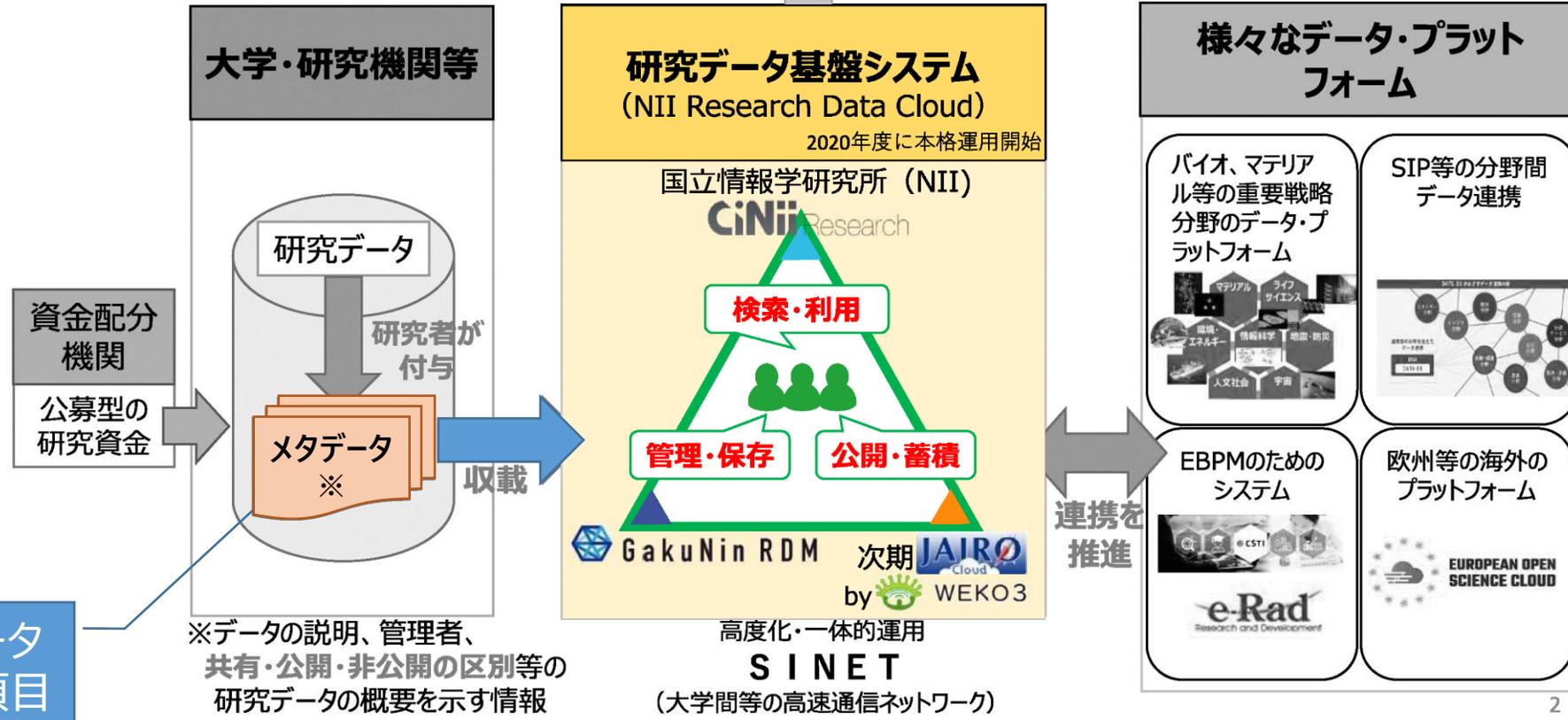
公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方について

研究データ基盤システムを中核としたデータ・プラットフォームの構築

- 研究データの公開・共有を推進、産学官のユーザがデータを検索可能
 - ムーンショット型研究開発制度における試行(2020年度開始)、その後、次期SIPに導入
- ➔ 全ての公募型の研究資金の新規公募分に導入(2023年度まで)

アカデミア、産業界等

研究データを検索・利活用



メタデータの共通項目の実装

2022.10.17 GakuNin RDMでメタデータ管理機能がリリース

メタデータ管理機能の概要

GakuNin RDM メタデータ管理機能は、リポジトリへの研究成果登録や研究成果報告の際に利用できるメタデータの管理機能を提供します。次の機能があります。

- GakuNin RDMプロジェクトで管理しているファイルに関するメタデータを編集することができます(ファイルメタデータ)。日々の研究活動の中でファイルメタデータを管理することで、研究成果に関する文書作成等の作業に活用することができます。
- GakuNin RDMプロジェクトに関するメタデータを編集・登録することができます(プロジェクトメタデータ)。日々の研究活動の中で編集した各ファイルメタデータをプロジェクトメタデータに登録することで、研究成果報告用の形式にエクスポートするなど研究成果報告に活用することができます。
- GakuNin RDMのプロフィールにe-Rad研究者番号を設定することで、メタデータ編集時に研究者名や課題情報などの項目の入力を効率的に行うことができます。

このように、研究成果報告の際に面倒な種々の情報の管理にGakuNin RDMのメタデータを活用することができます。

ファイルメタデータとプロジェクトメタデータそれぞれの編集・登録方法については、ユーザーマニュアルの [ファイルメタデータの編集](#) と [プロジェクトメタデータの編集・登録](#) のそれぞれをご覧ください。

GakuNin RDMの入力画面

ファイルメタデータの編集

メタデータ様式: 公的資金による研究データのメタデータ登録

データ No. クリップボードから貼り付け

データの名称 (日本語)*

Title (English)*

掲載日・掲載更新日

データの説明 (日本語)*

Description (English)*

データの分野*

データ種別*

概略データ量

入力支援:

ユーザープロフィールにe-Rad研究者番号を設定すると、e-Radの研究者情報、研究課題情報を自動的に入力することが可能

ファイルのメタデータを別のファイルにコピー & ペースト可能

出力支援:

登録したメタデータをエクスポートして報告書等に活用

GakuNin RDMとリポジトリの連携

1 

プロジェクト／メンバー管理

研究プロジェクトを作成し、メンバーを招待します。デフォルトストレージ、Wiki、ディスカッション機能が使えます。

[もっと詳しく >](#)

2 

ストレージ接続

機関が所有するストレージをプロジェクトに接続し、メンバー全員で共有します。外部のクラウドストレージも同様に接続・共有できます。

[もっと詳しく >](#)

3 

証跡保存

ある時点でファイルが存在していたこと、変更されていないことを保証します。研究不正の疑いから研究者と組織を守ります。

[もっと詳しく >](#)

4 

データ解析

JupyterとRStudioによるデータ解析環境をワンクリックで作成します。他のメンバーが同じ解析環境を複製し、コードを再利用できます。

[もっと詳しく >](#)

5 

Webサービス連携

リモート会議やカレンダーなど、使い慣れたさまざまなWebサービスと連携します。（この機能は開発中です）

[もっと詳しく >](#)

6 

リポジトリ連携

研究データを機関リポジトリに公開します。
（この機能は開発中です）

開発中

[もっと詳しく >](#)

まとめ

メタデータの共通項目は、国の研究データ施策に基づいて、機関リポジトリでも扱っていくことになる。

JPCOARスキーマが、Version 2.0でメタデータの共通項目の多くに対応した。ここでは、体系的番号やRORといった識別子への対応が重視されている。国際的に使われている研究データの語彙も採用した。

GakuNin RDMでもメタデータの共通項目への対応が行われている。機関リポジトリとの連携が実現すれば、公開の研究データがメタデータの共通項目により、さまざまなサイトで検索可能となる。



ありがとうございました